

Recruit for Future

拡大マニュアル
(入会候補者編)

公益社団法人 日本青年会議所

最終改定日 2025年01月01日

目 次

[入会候補者向け説明資料](#)

[はじめに](#)

[JCとは何ですか①](#)

[JCとは何ですか②](#)

[JCとは何ですか③](#)

[JCとは何ですか④](#)

[JCとは何ですか⑤](#)

[JCとは何ですか⑥](#)

[JCとは何ですか⑦](#)

[JCとは何ですか⑧](#)

[JCとは何ですか⑨](#)

[JCとは何ですか⑩](#)

[JCとは何ですか⑪](#)

入会候補者向け説明資料

公益社団法人 日本青年会議所



入会候補者向けの JC の説明資料やパンフレット等を作成されている LOM は多いと思います。しかし、LOM によっては、十分な経験を積まないまま拡大委員長を引き受け、JC の魅力や意義を入会候補者に十分に伝えきることができず、拡大に苦戦していることも少なくないと思います。

そこで、本章では、JC 活動を通じて何を学ぶことができるのか、他の団体と比較してどのような特長があるのか等についてまとめました。JC 歴の長い方もそうでない方も、改めて JC ではどのような能力を身に着けることができるのか、そして、それをどのように入会候補者に伝えれば共感が得られるのかを考える契機にしてください。



JC って何だろう？



候補者に分かりやすく JC を説明する

(JC とは?)

今の自分に満足している人はどれくらいいるでしょうか？皆さん、置かれている状況はひとそれぞれです。JC の説明を聞いてくれるような人は、会社の業績を伸ばしたい、自分を成長させたい、自分の可能性を試したい等の願望をもっている人がほとんどです。

そのような要望を満足させてくれる仕組みとして、様々な機会や団体があることでしょう。商工会青年部やロータリークラブや同業種の業界団体、あるいは仕事のスキルや営業に直結する機会等もあるかもしれません。

では、他の団体と JC が異なるところ、もっと平たくいうと JC の売りは何でしょうか。JC に入ると仕事につながるのでしょうか？

他の団体と何が違うの？



商工会議所



ロータリークラブ



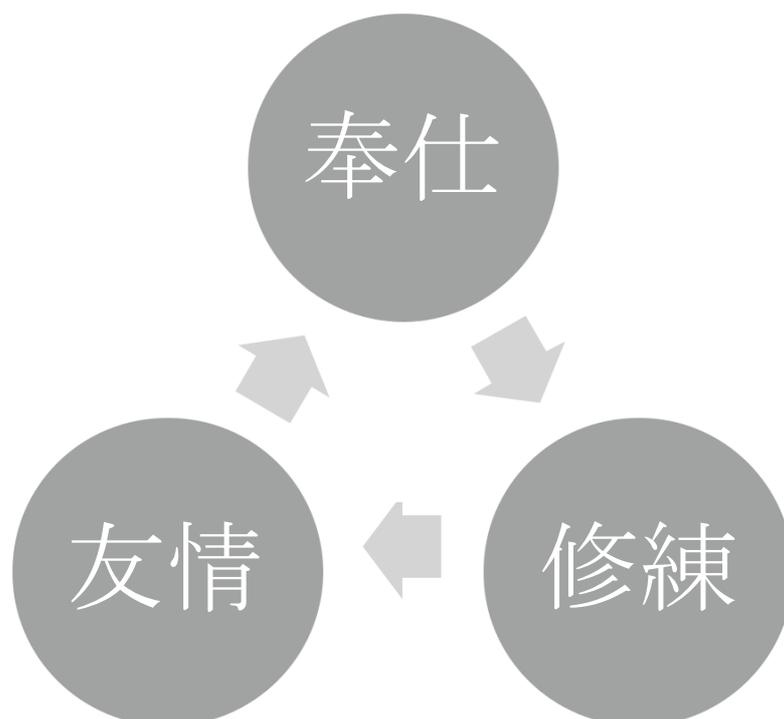
JC とは人生の学び舎

(JC とは?)

JC は、アメリカはミズリー州セントルイスの修道院を活動拠点として始まり、世界各地に広がっていきました。日本 JC は国際青年会議所(JCI)の存在にかかわらず発祥しましたが、1951 年に JCI に加盟し、以後国際的にも活動を拡大しました。現在、世界で 100 ヶ国以上、10 万人以上のメンバーが在籍している世界で最も大きな青年団体です。

JC を説明する言葉は人それぞれあると思いますが、一言でいうなら JC は人生の学び舎といえるのではないのでしょうか。平たく言うなら、社会人のための学校です。JC では、奉仕、修練、友情という 3 つの信条を掲げて活動していますが、これらの 3 信条のもとで、様々なことに挑戦する機会が与えられます。JC 活動に真剣に取り組むことで、全国や世界に同じ志をもった仲間との人脈を築くことができることはもちろん、JC で学んだことを社業に活かすこともできます。

JC の三信条

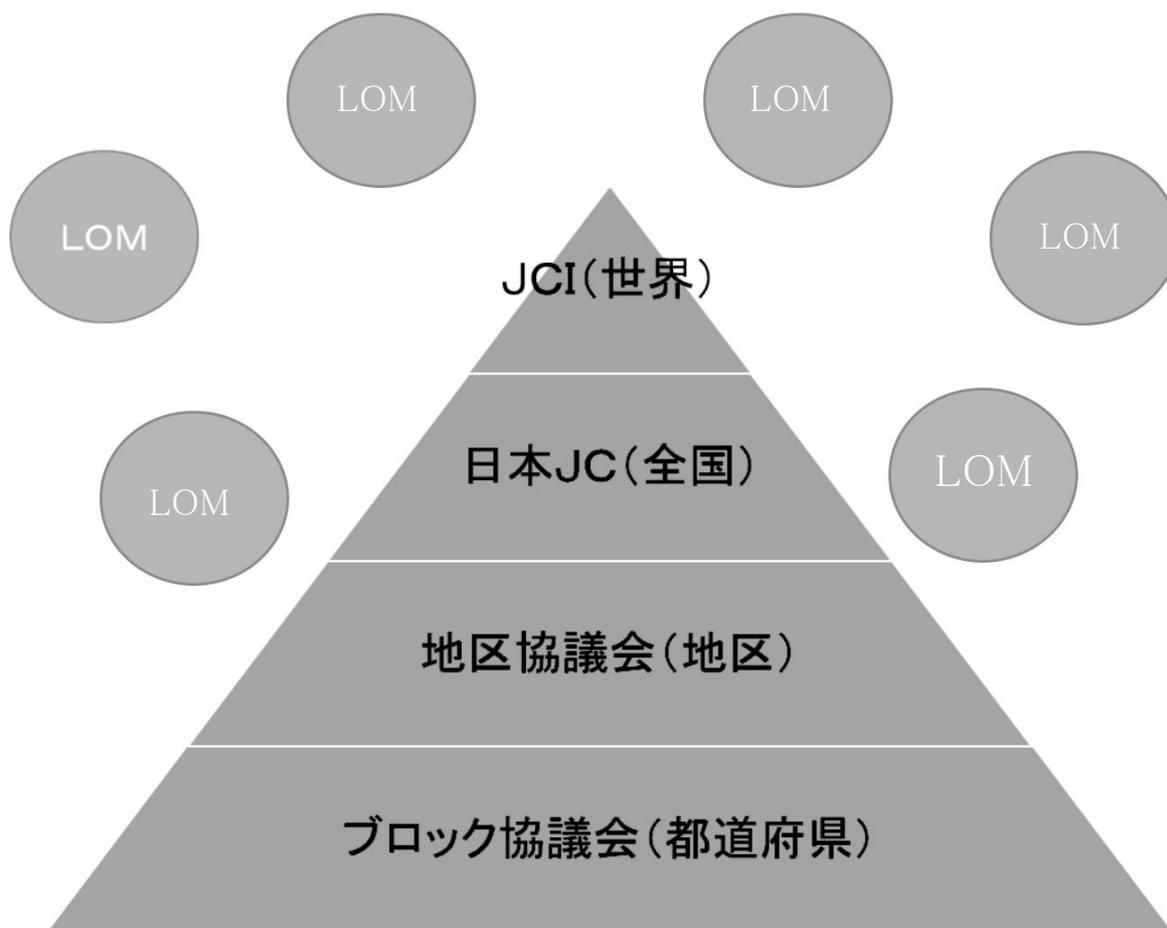




JC とは人生の学び舎

(JC の活動の仕組み)

各市町村レベルで LOM と呼ばれる単位の青年会議所が全国で 695 存在します(2018 年 1 月 1 日時点)。この 695 の LOM が会員となっている組織が日本青年会議所(本会)です。そして、本会の下部組織として、地区単位の組織である地区協議会、都道府県単位の組織であるブロック協議会が存在します。また、日本青年会議所は世界の青年会議所組織である JCI の会員でもあります。したがって、LOM に入会することで、本会、地区、ブロック、JCI 等の各種団体に出向する機会も与えられます。



JC とは人生の学び舎

(JC の主な役職)

委員は、委員会に所属して、委員長のリーダーシップのもと活動し、JC の仕組みや組織を学びます。

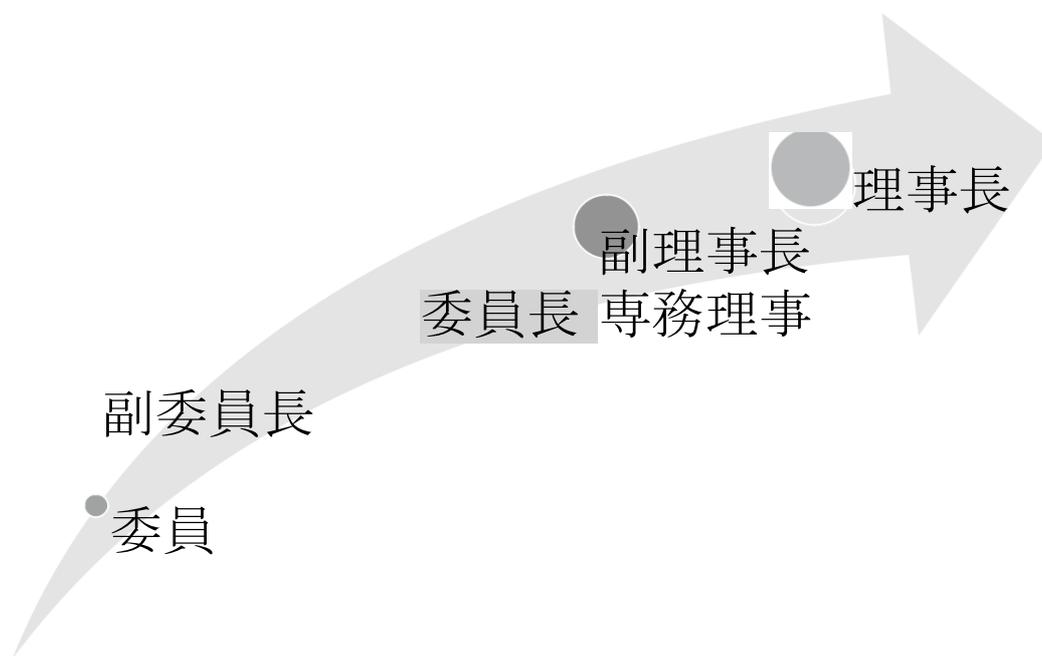
副委員長は、委員会運営の責任者として委員長を補佐します。

委員長は委員会メンバーをまとめて、担当事業を構築し、JC の運営に関わります。委員長が理事を兼ねることもあります。

理事になると、1人1議決権が与えられ、上程された事業を実施するかどうかの決定権をもちます。

副理事長は理事長を補佐し、専務理事は JC 活動の責任者となります。

理事長は青年会議所の代表として、JC 運動の責任者となります。



(JC は単年度制)

JC の人事では単年度制が採用され、メンバーの役職は毎年シャッフルされていきます。

この単年度制の仕組みにより、メンバーは様々な経験を積むことができます。毎年同じ職務を担当すればその分野を極めることができますが、自分の苦手なことにもチャレンジし、様々なメンバーとチームを組むことで多様な経験を積むことで考え方の幅を広げることができるのが JC の大きな特長です。

社業を飛躍的に伸ばすためにはイノベーションが必要です。JC では、出向の機会も含めて毎年役職が変わり、いろんな考え方の仲間から刺激を受けることができるので、イノベーションを起こすのに必要な思考回路が身に付きます。



JC は意識変革団体です

(JC の一番大きな特長)

さて、冒頭の「他の団体と何が違うの？」に対し、ここで答えてみたいと思います。他団体と異なる一番大きな特長は、「JC は意識変革をする団体」であるということです。

JC が取り組む事業は、市民の意識変革、まちづくり、人財育成につなげることを目的とします。その様な目的を達成するために様々な課題解決をしていくことを通じて、JC のメンバーも一緒に成長、意識変革していくことができます。

JC

事業を構築、実施する中で
自身も成長、意識変革していく



市民の意識を変革し、まちを変え、人財を育てる



JC は本質を追求していく団体です

(JC の一番大きな特長)

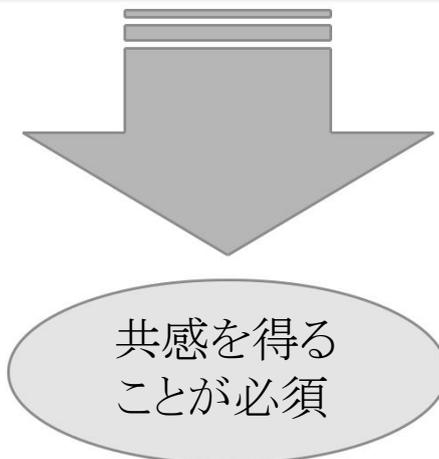
事業を構築していくだけであれば、毎年慣れたことをやる方がいいに決まっています。それでも JC では毎年メンバー構成を刷新し、敢えて毎年異なる事業を行い、果敢にチャレンジを行っています。そのチャレンジが成功するためには、その事業が市民や JC メンバーに共感を得られる必要があります。

JC の事業構築

毎年決まった事業を行うのではなく、その年ごとに違うチームで新たなことに挑戦する。



JC メンバー



市民

JC は本質を追求していく団体です

(JC と会社経営の共通点)

メンバーや市民から共感を得るためには、まさに現状や課題について、これでもかというくらいの掘り下げが必要です。それは、一つ答えが出ても満足せず、その答えに対してなぜそうなのかを繰り返していかなければなりません。

これを1人でやっても限界があります。時に人とざっくばらんに話し、時に人と深く話し合い、自分でもさらに掘り下げ、それでようやく共感を得る内容にすることができます。これはひとつの「哲学」を極めていくような作業と言ってもいいかもしれません。昨年の経験を基に毎年同じような事業をやる団体では、この過程は到底体験することはできません。

これは会社を経営するためには必ず必要なことです。経営者の方にとって人脈以外に得られる一番大きなポイントはこの点です。

(社是や経営理念の決定)

社是は社員が会社の理念を共有し、一つの方向性に向かって一丸となるためのものです。これが共感を得るものでなければ、社員の行動の方向性がバラバラとなり、社員のモチベーションも保てず、採用方針も明確にならず、結果として当然会社の成長も望めません。

あなたがいくら優秀でも、あなた一人で完璧な社是を構築することはできません。社員の方と話して作ることは大事ですが、経営者としてのあなたと社員とはその発想のスタート地点が違います。

JC には同じ経営者と本質を追求してきた仲間がたくさんいます。JC ほどに「なぜ」を繰り返す経験ができ、そこに答えを見いだせる団体は他にはありません。

(事業計画の策定)

もう少し直接的に関わることで、事業計画の策定にもこの本質を追求することが不可欠です。変化の激しい現代において、毎年同じ事業を継続するだけでは会社の未来はありません。変化を敏感に感じ取って事業をバージョンアップしたり新規事業を立ち上げる必要があります。

そのためにも「なぜ」を繰り返し、様々な人や考えに出会うことで、イノベーションを起こすマインドを養成することが必要なのです。イノベーションを起こすのは、いつも若者です。ただ若いだけではなく、本質を追求した若者です。JC ではそんな若者と必ず出会えます。



JC で学ぶことができるスキル

(JC では社会課題を解決していく)

JC では、一言でいうと様々な社会の課題を解決していくことを通じて人間的成長ができます。そして、JC が取り組む課題は様々な分野に渡ります。

そうした課題解決に取り組む中で、以下のような幅広い能力面で学び、成長することができるのです。

マネジメント能力

コミュニケーション能力

組織力

広報戦略

行政や他団体との連携力

(課題解決の能力・スピードの向上)

JC では、役職ごとに、上記の能力を発揮することが求められます。そして、委員長から理事、理事から理事長にかけては、より高い能力が求められ、挑戦していくことで課題解決の判断力、スピードを飛躍的に向上させることができます。

JC で学ぶことができるスキル(各論)

(マネジメント能力)

- ・まちや社会の中で課題を発見。
- ・課題解決に向けた目標を設定し、その目標を達成するための手法を検討する力。
- ・会議での意見対応。それらに対応していくことで、よりよい事業を構築。
- ・事業の実施後には徹底した検証と次年度以降の事業を行うことになるメンバーへの引継ぎ。

(コミュニケーション能力)

- ・上役や委員メンバー等の内部の人間や行政や他団体等の外部の協力者との上質なコミュニケーション。
- ・コミュニケーションの相手は、給料をもらって働く部下ではありません。手弁当で、活動しているメンバーです。
- ・どうやれば人のやる気を引き出せるのか、積極的に動いてもらえるか。そうした工夫をしていく中で、コミュニケーション能力が磨かれていきます。

(組織力)

- ・目的達成のためには、どのような組織を作ればうまく機能するかを考えなければなりません。
- ・運動を効果的に発信するためには組織の力が必要です。
- ・一人でやれることには限界があります。
- ・そのため、人を信頼して仕事を任せることがとても重要になってきます。任せられるような組織作りが不可欠なのです。

JC は単年度制のため、毎年必ず、こうした組織を大きく作り変える機会が与えられます。

(広報戦略)

- ・市民に運動を波及させていくためには広報が不可欠です。
- ・広報したい対象者にどのようにして事業や運動の魅力を訴求していくか・ホームページやFB等のSNSをどのように使うことが効果的なのか・既存の媒体以外にも有効な広報戦略はないかこうしたことを検討していくなかで、広報戦略を学んでいくことができます。

(行政や他団体との連携力)

- ・行政や他団体を巻き込むことで市民への運動発信効果が一気に高まります。
- ・行政や他団体を巻き込んで連携していく方法を学ぶことはもちろんのこと、政策を立てて自治体を動かし運動に昇華させることで国をも動かしていくことが可能になります。

JC で学ぶことができるスキルは社業発展に不可欠

(マネジメント能力)

仕事の進め方において意識すべき、PDCA サイクル。

JC において事業構築をすることは、正に PDCA を回すこととなります。この経験は、社業に生きることは間違いありません。

(コミュニケーション能力)

・社業において社員との、上司とのコミュニケーションは欠かせない要素です。
金銭抜きでの人のやる気スイッチを押す、JC ならではの経験は社業において役に立たない筈がありません。

(組織力)

・JC の事業は、一人で抱え込んでは何も上手く進みません。人を信頼してことを任せることができ初めて様々な課題を乗り越えることができるのです。

JC では 1 年毎に組織が変わる、つまり 1 年毎に様々なメンバー構成での組織作りを経験することができるのです。

こうした経験は、社業において人に任せられる組織作りに必ず結びつきます。

(広報戦略)

・広報戦略はいうまでもなく、様々な企業がその活動を続けていくためには欠かすことのできない要素です。

JC で様々な広報のやり方を学ぶことで、ご自身の社業での広報戦略の幅が広がります。

(行政や他団体との連携力)

・他団体、特に行政等は、社業においてあまり肯定的な形で関わることは少ないのではないのでしょうか。

JC 活動を通じて様々な団体と交わり、そこで繋がった縁、得た知識を活かすことで、今までにない相乗効果が得られる可能性があります。



まとめ

(JC で学べること)

JC は、仕事を与えてくれる場ではありません。

JC は、魚が釣れなくて悩んでいる人に魚を与える場ではありません。

JC は魚の釣り方を教える、学ぶための組織(社会人の学び舎)です。

JC で思いっきりチャレンジすれば、物の見方や考え方が変わります。

考え方が変われば、環境が変わります。

環境が変われば、世界が変わります。

仕事でも全く同じことです。

マインドセットを変えることで、社業も飛躍的に変わることでしょう。

[目次へ](#)